

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 多摩市立豊ヶ丘小学校
 種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 所在地 〒206-0031
 東京都多摩市豊ヶ丘2-4-1
 E-mail daihyo-toyogaoka-sho@city.tama.ed.jp
 Website <http://www.tama.ed.jp/toyogaoka/index.html>
 児童生徒数 男子 146名 女子 168名 合計 314名
 児童・生徒の年齢6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○平成23年度にユネスコスクールとして開校した統合新校。教育目標を「実行する子」「思いやりのある子」「健康な子」とし、学校経営方針に基づき、特色ある教育活動にESDを位置付けて、教育課程を編成している。

○開校以来、校内研究としてESDに取り組み、平成27年度で5年目となる。

○校庭西側斜面に広がる約7100㎡の学校林での学び、栽培から始まる食育、統合校としての地域連携・地域貢献の3つの柱で単元開発を行い、毎年ESDカレンダーの改善を重ねている。

○平成27年度は研究主題「かかわり、つながりを大切にし、考え実行する子どもの育成」の下、副主題「ESDを生かし、児童の主体的な活動を支えるファシリテーターとしての指導の工夫」を設定し、総合的な学習の時間・生活科を核として児童の主体的・協同的・探究的な学びを追究した。

○学校林の中で児童の主体的な活動が充実するための鍵となるのが、教室内での取組である。そこでは確実に「考える力」「生きる力」が伸びている。課題の発見と解決に向けて主体的・協同的・探究的に学ぶ授業、仲間の考えをまとめてより深い理解や新しい学びの価値を創造する授業があるからこそ、学校林に入っていく児童には力強い目的意識があり、本気で真剣である。

○主な学習活動（通年／一部抜粋）

全体	<ul style="list-style-type: none"> ■8月「全国学校の森子どもサミット」、12月「エコプロダクツ2016」、1月「復興支援広がれつなわれ学校の森シンポジウム」、2月「第1回多摩市子どもみらい会議」にて児童が発表し参加者と交流 ■11月「学習発表会」、2月「交流型学習発表会みにとよばあく」にて全学年児童が年間の教科横断的・総合的な学びの成果を発信 ■「服の力プロジェクト」特別活動児童会活動 ■「豊ヶ丘の自然学校（学校林ビバーク）」課外活動
第1学年	■「あきとなかよし」生活科(36時間)他
第2学年	■「大好き！ぼくらのくらす町」生活科(41時間)他
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ■「地域発見！貝取・豊ヶ丘」総合的な学習の時間（70時間） (1・2学期)地域の人とつながろう(24時間) (2学期)自分たちができることをしよう(26時間) (3学期)みんなと地域をつなげよう(20時間)
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ■「豊ヶ丘小学校の魅力 再発見」総合的な学習の時間（70時間） (1学期)学校の魅力 再発見(23時間) (2学期)学校の魅力を高める活動をしよう(28時間) (3学期)学校の魅力を伝えよう(19時間)
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ■「未来につなぐ学校林プロジェクト」総合的な学習の時間（70時間） (1学期)学校林のよさを遊びで伝えよう(30時間) (2学期)学校林の活動を広げよう(20時間) (3学期)学校林の活動を広げようⅡ(20時間) ■「一粒が千粒に（米・麦の栽培～食育）」学級活動＋課外
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ■「豊小グリーンプロジェクト」総合的な学習の時間（70時間） (1学期)学校林や野菜作り、多摩そばのことを知ろう(15時間) (2学期)自分たちができる活動を行おう(30時間) (3学期)学校林、野菜作り、多摩そばのよさを伝えよう(25時間)

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）

東京都

<http://www.tama.ed.jp/toyogaoka/>

多摩市立 豊ヶ丘小学校

学校と地域の魅力再発見
子どもたちが未来につなぐ
学校林プロジェクト

2050年の大人づくり 実行する子を豊ヶ丘から

ユネスコスクール (since 2010)



豊ヶ丘小の学校林は、学校の敷地の中にあります。校庭のすぐとなりなので、子どもたちがいつでも入れる遊びの場・学びの場です。休み時間も、もちろん入れます。東京では珍しいほど広く、面積は約7100㎡あります。多摩ニュータウンの開発時に手付かずのままで残された貴重な樹木林です。生活科や総合的な学習の時間をはじめ、いろいろな授業で全学年が活用しています。



多摩市は、ジブリの「耳をすませば」や「平成狸合戦ぽんぽこ」の舞台になった緑豊かな市です。豊ヶ丘小学校は開校5年目の統合校で、規模は各学年2学級の計12学級、児童数は315名です。特色ある教育活動としてESD（持続発展教育）に取り組んでおり、ユネスコスクールに登録しています。「東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校」でもあります。学校HPをご覧ください。

ゴールイメージをもって活動



思考を可視化して合意形成



学校林の中で児童の主体的な活動が充実するための鍵となるのが、教室内での取組です。そこでは、確実に「考える力」「生きる力」が伸びています。課題の発見と解決に向けて主体的・探究的・協働的に学ぶ授業、仲間の考えをまとめてより深い理解や新しい学びの価値を創造する授業があるからこそ、学校林に入っていき子どもたちには力強い目的意識があり、本気で真剣です。

シジュウカラの巣箱作り



朽ちた門の再生を検討



コナラをシイタケ用ホダ木に活用



豊ヶ丘の杜と交流



階段教室作り



森遊びを提案

伐倒した木をイスに活用



市民ボランティアに取材



絵本の読み聞かせ



秘密基地を作ってピバーク



スラックラインに挑戦



ギンナン拾い